

## 生活単元学習指導案

### 1 単元名 なかよしハッピーまつりをしよう ～サツマイモの収穫を祝って～

#### 2 単元について

本単元では、サツマイモの収穫に始まる一連の活動を、児童自身の活動として自然な意識の流れがあるように構成を工夫することで、共通の目標に向かって共に活動しているという共感性が高まり、一人一人が課題意識をもち、主体的に活動に取り組むことができるのではないかと考えた。また、活動の中に領域や教科の内容を関連付けることによって、その内容も習得することができるのではないかと考えた。

#### 3 課題解決能力と共感性を高める支援

##### ア 課題や見通しを明確にもつために

児童の興味や関心を大切に、課題や見通しをもって児童が主体的に取り組むことができるように単元の計画を立てる。そして、毎時間ごとの始まりには、児童と話し合いながら本時の課題を提示し、一人一人のめあてを明確にして活動することができるようにする。また、活動のある程度パターン化し、手順を示したカードや写真、記録したものなど視覚的なものを準備することによって、安定して取り組んだり、見通しをもって活動したりすることができるようにする。更に、課題を解決する場面を確保し、一人一人に応じた具体的な解決方法を支援することによって、課題解決能力を高めたい。

##### イ 学び合い、共感性を高める場の設定

本単元では、サツマイモを収穫する、収穫したサツマイモを食べる、収穫を祝うなどの活動を通して、みんなで同じめあてに向かって活動する喜びを体験させる。毎時間ごとに、発達段階や能力に適した役割を分担し、相手を意識し、一人一人がめあてをもって活動する中で共感性を高めたい。単元の終わりには、ビデオなどの視覚的なものを使って活動を振り返る場面を設定し、自分ができるようになったことを紹介し合う活動を組むことによって、更に共感性を高めたい。そして、自分や友達のよさとがんばりを実感し、自信をもたせるとともに、次の活動への意欲化を図りたい。

#### 4 単元の目標

- ・一人一人が分担された仕事を最後までやり遂げようとする。
- ・友達と協力して収穫したり、料理をしたり、収穫を祝ったりすることができる。
- ・活動したことを自分なりの方法で表現することができる。
- ・一人一人に応じた算数的な内容を生活の中で生かそうとする。